



生活協同組合ララコープ

～ “もっとイキイキ ひと まち 暮らし”を目指して ～

【受賞者の概要】

生活協同組合ララコープ

- ・所在地: 西彼杵郡長与町岡郷1474
- ・創立時期: 平成11年
- ・会員数: 21万4千名



【受賞時の活動・現在の活動】

ララコープ組合員活動部県北エリア委員会の活動として、松浦市今福町が産地である「ながさき米」の生産者と田植えや稲刈り体験を通して交流をおこないました。

6月の「生産者交流～ながさき米田植え体験～」では、親子連れなど68名が参加し、生産者から田植えの仕方を学び体験しました。その後、お米に関するクイズ大会をおこない楽しく交流しました。参加者からは「とても良い経験ができた。田植えをとおして、生産者のご苦労がわかった。これからはお米を大切に食べます。」などの感想がありました。

10月には「生産者交流～ながさき米稲刈り体験～」を開催し52名の参加がありました。その中で、長崎国際大学より日本の食文化を学びたいと3名の留学生の参加もありました。当日は雨風が強く、あいにくの天気でしたが、天候の合間を見て少しだけ稲刈りを体験することができました。恒例になった生産者とクイズを交えた交流会や、「いも餅」の餅つき体験をおこないました。

以上のような、田植え、稲刈り体験をとおして参加者に「食の大切さ」を伝えることができました。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

生産者と作業や交流をおこなうことで、食べ物を生産するその苦勞を知り、感謝する気持ちが芽生えます。作ってくれた人に感謝し、食べることのありがたさを感じ取る。そのことが「食育」に繋がると思います。

【今後の展望(これからの夢)】

これからも組合員と生産者の交流をおこないながら、食の大切さを伝えていきます。

平成22年度
受賞

やおせとオヤジ夜究教室

～ 家事を極めて男を磨く ～

【受賞者の概要】

おおせとオヤジ夜究教室

- ・所在地: 西海市大瀬戸町瀬戸東浜郷87-3
- ・創立時期: 平成12年
- ・会員数: 25名



【受賞時の活動・現在の活動】

男性を中心とした生涯学習団体。

食材は基本的に地産地消とし、会員で栽培したものや、地元産の食材を使用し、自己研鑽のための料理教室を開催しながら、食育活動の一環として西彼杵高校生徒への魚料理教室をはじめ、地元小学校の児童に対し、農業体験やピザ焼き、そば打ち体験を通して「食」の大切さを伝える取組が平成22年度食育推進活動表彰を受賞。

近年は、これまで培ってきた料理教室の成果を活かし、地元で獲れる「タコ」を食材としたタコめしを「ゑべすタコめし」のブランド名で商品化。各種イベントで提供を行い、好評を得ています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

これからは男女参画の時代。「家事は女性がすべし」の概念を払拭し、メンバーが持っている食育・教育・環境対策の知識を活かして、地域の食育活動にも取り組んでいます。

【今後の展望(これからの夢)】

毎年開催している「オヤジの集い IN おおせと」を通じて西海市内外の団体と交流を深め、オヤジ達のロマンを求めて「飽くなき挑戦」を行いながら、多くの仲間が集い、楽しく愉快地活動が続くように、これからも頑張ります。



ながよちょう

長与町健康づくり推進員協議会

～ 地域を巻き込み、広がりのある食育活動へ ～

【受賞者の概要】

長与町健康づくり推進員協議会

- ・所在地: 西彼杵郡長与町嬉里郷659-1
- ・創立時期: 平成13年
- ・会員数: 29名



【受賞時の活動・現在の活動】

平成8年～10年度に実施された町主催の男性料理教室参加者を中心に、平成11年～12年度に男性健康づくり教室を開催。その修了生が、自分自身の健康づくりと町民全体の健康づくりに役立つことを目的として、平成13年発足。保育園で、おじいちゃん的な存在として、園児とふれあひながら調理や紙芝居、朝食アンケート調査などを実施するとともに行政とタッグを組み合わせながら健康づくり事業を行っています。月1回の健康に関する学習会と、自主活動として、「保育園児とおやつや軽食づくり」「スポーツ活動」「ヘルシーウォーキング大会」の他、町事業への協力など、積極的な取組が評価され、平成23年度食育推進活動表彰を受賞しました。

平成26年にはピザ窯が完成、食育活動にピザ焼き体験を取り入れ、また、そば作り(種まき、刈取り、製粉、そば打ち)も始めるなど、食育活動はさらに広がっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

人と人とのつながりが希薄化していく中で、食育活動を通して、地域の子どもたちとのつながりも増え、長与町内の行事などで声をかけてくれるのも大きな励みになっています。子どもたちとの関わりで、自分たちのもっている知識を伝えるという伝承の役割も担えればと思っています。

【今後の展望(これからの夢)】

子どもから高齢者まで、多くの方々が食育を通して、食の大切さや楽しさを発見したり、改めて実感するなどのきっかけづくりとしていきたいです。

平成26年度
受賞

さいかい元気村協議会

～ 農林漁業体験を通して田舎の良さを感じてほしい～

【受賞者の概要】

さいかい元気村協議会

- ・所在地: 西海市西海町中浦南郷390番地2
- ・創立時期: 平成21年
- ・会員数: 25名



【受賞時の活動・現在の活動】

遊休みかん園をひとつの“むら”に見立て、“むらづくり”をまるごと体感することができる体験フィールドが「さいかい元気村」です。“農的暮らし”をコンセプトに、わらや土を使って作る昔ながらの「エコハウスづくり体験」や、自家製の小麦粉と手作りの土の窯を使った「ピザ焼き体験」、植え付けから手入れ、収穫までを行う「農業体験」など、みずからの手を動かし、自然の恵みを体感できる活動を行っています。近年問題となっている耕作放棄地の解消などにもつながっており、年間を通した季節ごとの豊富な体験メニューの提供で、都市部と農村との交流人口拡大にも貢献しています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

毎週のように足を運んでくれる方たちと共に、むらは賑わい、成長してきました。“むら”という一つの場・フィールドで活動を重ねていくことで、むらを訪れる人と地元スタッフとの間に継続的なつながりが生まれ、田舎暮らしや農的暮らしの知恵、食や農にまつわる知識や情報を交換できる豊かな学びの場になっていると思います。

【今後の展望(これからの夢)】

現在西海市では、農林漁業体験民宿(農泊)の活動が活発になってきています。日本全国からの修学旅行生や家族連れの旅行者、世界各国からの旅行者が西海を訪れる中、自然豊かな西海の暮らしを伝える拠点として、さらに「さいかい元気村」を活用・発展させていきたいと思っています。今後も田舎での農的な暮らしの楽しみや豊かさを、“体験”という実感のともなう活動を通し、多くの方々へ伝えていきたいです。